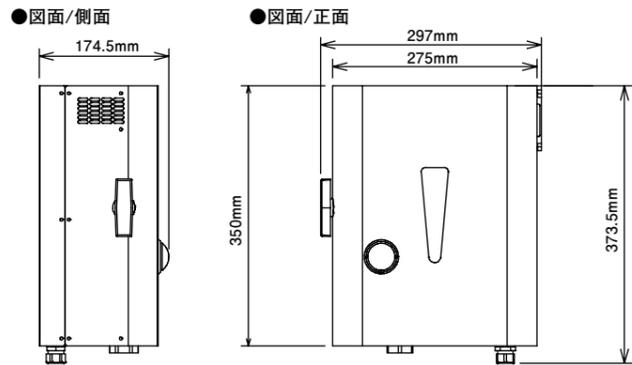


オゾン水生成機『サニアクリーン SC-0410』



※細かな塵埃の飛散する環境、あるいは高湿度の環境は避けてください。

商品名 / 形式品名	サニアクリーン / SC-0410
オゾン発生方式	無声放電方式
オゾンガス原料	水中の溶存酸素
原料水水圧	0.1~0.4 MPa
オゾン水流量	3~12 [ℓ/min] (水量調整レバー開)
オゾン生成量	約420 [mg/h] (水温20℃)
オゾン水濃度	1.0 [mg/ℓ] (水温20℃ 水流量7 [ℓ/min] 時)

■簡単操作で高濃度オゾン水!!

スイッチのON/OFFだけの簡単操作で、1ppm(水温20℃)の高濃度オゾン水を生成。

■安全!!

溶け残ったオゾンガスは、再度オゾナイザーへ(新開発サーキュレーションミキサー)戻すため、排オゾンガスが出ません。

■低コスト!!

PSA・乾燥剤・活性炭などの消耗品はなく低コストです。(定期的にオゾナイザのリサイクルは必要です。)

運転制御方法	押しボタンスイッチ、または供給水栓開閉時、オゾン水生成
本体電源電圧	AC 100 V (50/60 Hz)
本体消費電力	約65W
本体外形寸法	W297×D174.5×H373.5mm(突起部含む)
重量	約11kg
使用温度範囲	0~40℃
外部接続方法	給水口:Rc1/2ソケット、オゾン水出口:Rc1/2ソケット
電源コードの長さ	1.2m

●その他のオゾン製品ラインナップ



GWN-2000S
剛腕シリーズ最強のハイスペックモデル。



エアフィーノ
高性能オゾナイザーとモーションセンサーによる安心機能搭載。シンプル&コンパクト設計でどんな空間にも調和。



仙水シリーズ
グリーストラップ改善装置。清掃頻度及び臭気を軽減。



オゾン
空気



オゾン
空気



オゾン
空気

利用イメージ

※本商品は薬機法における医療用具ではありません。

●オゾン関連商品の使用上のお願ひ

オゾン関連商品のご使用にあたっては、製品取扱説明書、もしくは販売店の指示に従い、商品の特長を十分ご理解いただいたうえで正しくお使いください。事故や災害の原因になりますので十分ご注意ください。
※改良のため、予告なくデザイン・仕様等を変更する場合があります。

お問い合わせ・お申込みは

ENDRESS 日本エンドレス株式会社

本社 〒175-0081 東京都板橋区新河岸 2-7-7 エンドレスビル
TEL 03(5383)6777(代) FAX 03(5997)6800
仙台営業所 〒981-3201 宮城県仙台市泉区泉ヶ丘 2-15-11
TEL 022(371)8887 FAX 022(371)8886

■開発・製造元

オーニット株式会社

〒709-0721 岡山県赤磐市桜が丘東3-3-765
TEL086-995-9155 FAX086-995-9156
<http://www.ohnit.co.jp>

※仕様等につきましては予告なく変更する場合があります。
2018.2現在 Z02-SC0410-651-4



オゾン水生成機

Sanja
Clean

高性能・安全を実現した次世代のオゾン水生成機

サニアクリーン SC-0410

オゾン水のトリプル効果

除菌 消臭 鮮度保持

オゾン水のメリット

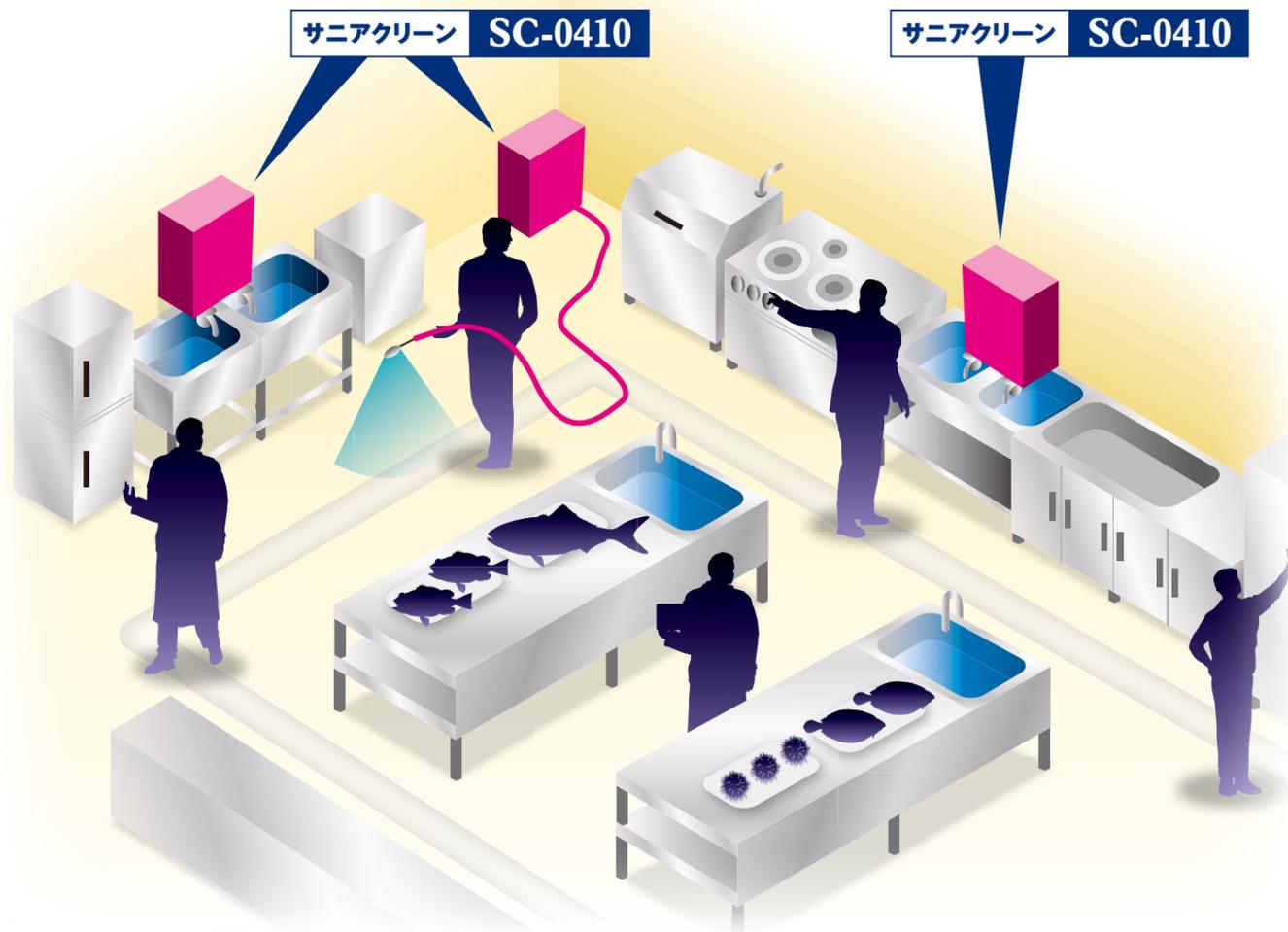
安全

低コスト

薬剤と違い、残留性がありません。食材、器具など様々な用途にご利用いただけます。

原料は、水道水と電気のみ。薬剤の補充、ストックなどの手間がありません。

●厨房での設置イメージ



新システム SC-0410

《特許出願中》

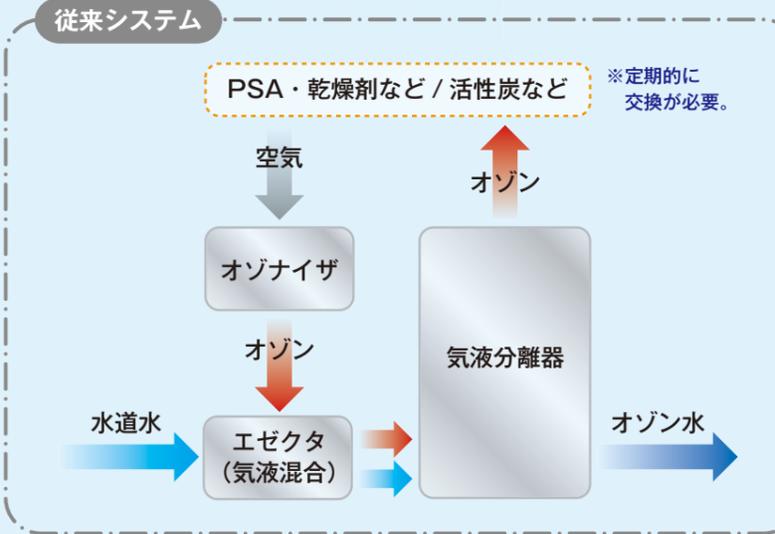


オーニットの高性能オゾナイザだから、実現した画期的な新システム。

★3つの新技術★

- ①新開発オゾナイザ
高温度の原料ガスでも安定してオゾン生成!
- ②新開発エゼクタ
SC-0410に最適な気液混合を可能に!
- ③サーキュレーションミキサー
溶け残ったオゾンガスをループさせる溶解ユニット

従来システム



高性能オゾン水を、様々な用途・場所で、簡単・手軽にご利用頂けます。

■本体概要



■オプション品



●各種除菌剤の99%不活性化CT値(mg・min/L)

除菌剤	腸内菌	ウイルス	芽胞菌	アモeba(シスト)
オゾン水	0.01	1	2	10
次亜塩素酸	0.2	5	100	100
次亜塩素酸イオン	20	>200	>1000	1000
モノクロラミン	50	1000	5000	200

●オゾン水の除菌効果

菌名	試験前*	除菌後	
		(30sec)	(1min)
①大腸菌:Escherichia coli (NCTC9001)	5.0×10 ⁵	0	0
②サルモネラ菌:Salmonella abony (ACM5080)	4.6×10 ⁵	1	0
③緑膿菌:Pseudomonas aeruginosa (NCTC12924)	3.3×10 ⁵	0	0
④黄色ブドウ球菌:Staphylococcus aureus (NCTC10788)	2.3×10 ⁵	0	0

日本医療・環境オゾン研究会会報、増刊3号、2007年4月より引用

試験機関:(公財)岡山県健康づくり財団

*添加した菌液の菌数を測定し、試験前の菌数に換算した。